

【新川崎地区】

事業説明後、質疑応答

(委員)では、私から4つほど質問がある。まず、先ほどの事業の説明の中で、第1期事業で見送ったものがあるが、それは、事業の計画時に想定できなかったのか。

2つ目として、成果指標に「駅乗降客数」とあるが、駅の利用者数の上限は、どの程度か。

3つ目として、住民参加の連携を図っていくとのことだが、市民から意見が出た際に、市の方で資金負担はしていただけるのか。その際に、メンテナンスのコストがあまりかかるようでは、市は困るのではないか。

最後に、「地区人口」、「駅乗降客数」が増えているが、それに伴い、事件・事故も増えているということはあるか。

(まちづくり局)鹿島田跨線橋の横の立体遊歩道整備と、交通広場の設置に係る事業については、関係事業者と協議をしていく中で、思いのほか時間がかかってしまうこととなったが、準備工事については、ようやく入れる状態である。

「駅乗降客数」については、手元にデータがないため、回答できない。

3つ目の質問について、樹木や公園が対象になってくるかと思うが、既存の制度を活用する形で対応していきたいと考えている。

4つ目の質問について、関係機関と協力して、安全安心について配慮していきたいと考える。

(委員)1つ目の質問について、事業期間が延びるに伴い、事業費が膨らむということはあるのか。4つ目の質問については、資料に考えている旨の記載があれば、こうした質問は出ないのではないか。

(まちづくり局)資金については、安全管理面の検証を行った結果、当初よりも予算は膨らんでいる。4つ目の質問については、御指摘のとおりと考える。

(委員)アウトプットといったものが、しっかりできたのか否か、把握しておくべきかと思う。

(委員)この事業では、歩行者専用道路の整備が多いが、渋滞緩和等の観点から造られたところはあるのか。

(まちづくり局) 右折レーンがなくて渋滞しているところがあり、いわゆる付加車線を設置したところはある。全体的には、交通量を推計して、警察と協議していくので、混雑度を加味して設置している。

(委員) 計画の図を見ていると鹿島田跨線橋の先は、住宅が密集しているようだが、そこから新川崎駅を利用する市民がたくさんおり、そういう意味では、交通広場は、重要な位置付けになると思われるが、規模は十分なもののなか。

(まちづくり局) 必要面積を算出する計算式があり、それによると 5,000 m²となり、バスレーン2つにタクシー乗り場がある。

(委員) このエリア及び鹿島田駅あたりも含め、将来的にこのあたりがどうなるのか全体的に示してもらいたい。そうでなければ、このまちづくりが、うまくいっているのか分かりにくい。

(委員) 成果指標のところで、「駅乗降客数」と「放置自転車率」は、推計になっているのはなぜか。

(まちづくり局) まず、「駅乗降客数」については、昨年度末までのJRの公表値から推計している。放置自転車率については、成果指標の集計時に、今年度のデータがなかったことと、日によってのバラツキがあるため、推計としている。

(委員) ということは、「駅乗降客数」についてのデータはあるのか。

(まちづくり局) 駅乗降客数については、昨年度までのデータが公表されている。放置自転車については、このデータを作成した時点では、無かったが、現在は出ているかと思う。

(委員) それならば、現実のデータにより比較すべきではなかったか。目標値を満たさなかったのが、ダメだということはないかと思うので、数式をいろいろ検討しているようだが、そういうことでは、予測の根拠としては、意味がないように思える。

(まちづくり局) 今回の事業に含まれている駐輪場は、現在未完成の状態である。完成後の公表値を確定値として、フォローアップの際の値としたい。